

平成 27 年度一般社団法人日本家政学会中部支部第 1 回役員会 議事録

日時：平成 27 年 7 月 25 日（土）13:00-17:00

出席：東珠実、和泉秀彦、木澤光子、阪中専二、中澤弥子、西田淑男、乗本秀樹、原田妙子、平林由果、
夫馬佳代子、室雅子

欠席：可部野和子、金田桜子、佐藤真美、長島万弓、福岡恩、丸山智美

記録：室雅子

（敬称略 50 音順）

議事に先立ち、東支部長が前回（平成 26 年度第 3 回）役員会の議事録（メールにて承認済み、資料 1）を確認した。

I 報告事項

1. 理事会報告（資料 2）

東支部長より、理事会の議案書について説明があった。部会を合同で行う形を推し進めていきたい件、学会誌の投稿不足に対して部会報の審査に通った論文を学会誌の審査に通ったものとして掲載する（部会報を廃止する方向）案がでている件、第 67 回大会報告の件などについては詳しく報告がされた。

2. 中部支部若手の会活動報告（資料 3）

東支部長より、昨年度の中部支部若手の会の活動について報告がされた。動向としては会員数 25 名、入退会なしであったこと、3 回のミーティング、4 回の勉強会、1 回の講演会が実施されたが、会員およびイベントへの参加人数がたいへん少ないため、その改善が課題であることが報告された。

II 協議事項

1. 次期役員の選出について（資料 4）

1) 選考委員会・選挙管理委員会の設置について

次期役員の選出に際し、東支部長、平林副支部長及び役員幹事（和泉幹事、長島幹事、原田幹事、室幹事）により選考委員会を設置すること（委員長は平林副支部長）、また、選考委員会は、代議員・理事選挙の実施にあたり、東支部長、平林副支部長、室幹事により選挙管理委員会を設置すること（委員長は室幹事）を確認した。

2) 平成 28・29 年度支部長・副支部長・監事の選出について

平成 28・29 年度支部役員（幹事）の選出に先立ち、支部長候補者・副支部長候補者・監事候補者を決定することになった。選考委員会より、支部長候補者として東現支部長、副支部長候補者として平林現副支部長、監事候補者として岸本現監事と原田現幹事が選出され、信任投票の結果、承認された。

3) 平成 28・29 年度支部役員（幹事）の選出について

平成 28・29 年度支部役員（幹事）の選出について内規等を確認し、上記の支部長候補者、副支部長候補者、監事候補者以外の正会員から都道府県別（愛知県は 4 つのグループ別）に所属会員の人

数に応じた支部役員（幹事）の選出を依頼することになった。都道府県別（愛知県はグループ別）の幹事の人数については、最新名簿と前回の役員選出時の資料に基づき、役員選考委員会（東支部長）が確認し、メール会議にて改めて提案することになった。なお、基準としては、各県所属人数が 50 名未満の地区は 1 名、50 名以上 60 名未満の地区は 2 名、60 名以上の地区は 3 名を目安とすることにした。

4) 理事候補者および代議員選出について

平成 28・29 年度理事候補者および代議員候補者（代議員の任期は平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の選出について内規等を確認し、上記の選挙管理委員会（室委員長）を設置のうえ、選挙を実施することになった。理事候補者および代議員候補者は、有資格者としての条件を満たす者の中から、それぞれ 3 名、6 名を選出することが確認された。有資格者リストについては、最新名簿と前回の選挙時の資料に基づき、選挙管理委員会（東支部長）が確認し、メール会議にて改めて提案することになった。

2. 平成 27 年度（第 60 回）支部大会について（資料 5）

東支部長より、大会プログラム案を元に計画の説明があり、使用予定の教室等の見学を行った。プログラムに関して、一部、表記の加筆（会場に建物名；生活科学部棟を追記）をお願いすることにした。また、中部支部大会発表奨励賞のエントリー状況およびポスター発表・口頭発表のグループ（分野）分けについて確認した後、口頭発表の座長について審議した。その結果、一人の座長が 3 件の口頭発表を担当することになり、O-1～3 は阪中幹事、O-4～6 は中澤幹事、O-7～9 は井上尚子氏（椋山女学園大学）、O-10～12 は室雅子氏が担当することになった。また、これらを反映したうえで、実行委員会がプログラムを完成させ、8 月 1 日に発送作業を行うことが確認された。

なお、平林副支部長には、中部支部大会発表奨励賞の審査委員長として、表彰者の選考の依頼があった。

3. 平成 27 年度支部総会について（資料 6）

東支部長より、中部支部平成 27 年度総会次第案について、資料に基づく説明があり、議案説明の担当の確認を行った。また、平成 28 年度（第 61 回）支部大会開催校については、東支部長が過去の開催校リストを確認のうえ、メール会議で提案・協議することになった。

平成 26 年度事業報告および収支予算・決算書については、一部修正のうえ（事業報告／中部支部論文奨励賞の小木曾氏（協議事項 10 にて承認）の所属：長野県立短期大学⇒長野県短期大学、決算書／監事：成田先生⇒長野先生）、承認された。事業計画（案）については、一部修正（院生・学生発表会および若手の会主催公開講演会の会場：愛知学泉大学岡崎校舎⇒岡崎キャンパス、役員連絡会 第 2 回：平成 27 年 2 月上旬⇒平成 28 年 2 月上旬）ならびに、公開講演会のテーマ、講演者を決定・挿入することを前提に承認された。

なお、若手の会主催公開講演会については、今年度より役員会が概要を企画し、それに基づいて若手の会が運営を行うことになったため、テーマ等について検討した。その結果、「ネット社会」や「SNS」等に関する内容を取り扱うこととなり、講師について、会員と非会員の講師 1 名ずつを演者候補者に

心当たりのある役員に依頼してもらうことになった。(まずは和泉先生に非会員、原田先生に会員の講師を当たっていただくことになった。)

4. 平成 27 年度家政学関連院生・学生発表会について (資料 7)

阪中先生より、平成 28 年 2 月 20 日 (土) の午後、愛知学泉大学岡崎キャンパスで、院生・学生発表を開催することについて説明があった。発表申し込み締め切りは平成 28 年 1 月 18 日 (月) とし、発表者募集案内を、支部大会の案内に同封することが確認された。

5. 若手の会 規約について (資料 8)

若手の会 (福岡代表) から提出された「若手の会 規約」について審議した。これについては、改変に総会の議決を要する「規約」ではなく役員会での審議で柔軟に対応できる「申し合わせ」として取り扱うことになった。なお、原案に対し、以下の箇所を修正したうえで、承認された。(以下は、修正後。)

- ・みだし 一般社団法人日本家政学会中部支部 若手の会 申し合わせ
- ・第 2 条 一般社団法人日本家政学会中部支部の会員で 45 歳以下の者は、原則として中部支部若手の会の会員となる。
- ・第 8 条 削除
- ・附則 「申し合わせ」に関する改正は、中部支部役員会の議を経て行う。
 - 1 この「申し合わせ」は、平成 27 年 7 月 25 日より施行する。

6. 平成 27 年度 2 期活動助成金の申請について (資料 9)

平成 28 年 2 月 20 日 (土) に開催される若手の会主催講演会の講師謝金、要旨集代を平成 27 年度 2 期活動助成金に申請することになった。なお、講演会の内容については、上記 (協議事項 3 : 平成 27 年度支部総会における事業計画 (若手の会主催公開講演会) に関して検討された内容) のとおりとし、内容が決まり次第、東支部長が申請書を作成し学会本部に提出する。なお、申請書の提出は 8 月 18 日が期日であることから、7 月中にメール会議を通して、およその内容を決定できるように進めていくことになった。

7. 平成 28 年度全国大会について (資料 10)

平林副支部長より、資料に基づき、平成 28 年度全国大会の準備状況について説明があった。実行委員会 (実行委員長 中森千佳子氏) は開催校 (金城学院大学) の先生方と東支部長 (副実行委員長) で構成するが、中部支部として全国大会を引き受けることから、役員会においても、諸事において協力をお願いしたい旨の要請があり、了解された。なお、特に以下の点について、役員会の協力が求められた。

- ・公開講演会・シンポジウム企画について
- ・補助金申請の可能性について (科研費の可能性を確認することになった。)
- ・「企業展示」「要旨集広告掲載企業」の確保
- ・ランチョンセミナー、飲料・菓子などの提供企業の確保

また、公開講演会・シンポジウム企画について、本部から提示されたテーマ (家族生活を支える家

政学の役割)に基づく趣旨等が提案され、意見が求められた。これに対し、主に次のような意見が出された。

- ・内容的には、本部の提案でもあり、変更しなくてよい。
- ・テーマの「家政学」、「対人サービス」という言葉は、専門家にとってはよいが、一般人には難しいのでは。もっと、わかりやすい、関心の持てるタイトルにしたほうが良い。

(例) 「家族生活を支える知恵」

「家族生活の支える大学と社会の役割～家政学が貢献できること～」など

8. 平成 26 年度中部支部論文奨励賞について

平林選考委員長より、平成 26 年度中部支部論文奨励賞の選考結果について、以下のとおり、報告があり、承認された。

・受賞者（1名）

小木曾加奈氏（長野県短期大学）

受賞対象論文：発芽玄米酒粕の嗜好特性

共同研究者：中澤弥子氏（長野県短期大学）、岡崎光雄氏（岡崎酒造株式会社）

そのほか、すでに承認されている平成 26 年度中部支部大会発表奨励賞（神谷麗奈氏）、院生・学生発表奨励賞（近藤早希氏、伊東優里氏）についても再確認がなされた。なお、これらの受賞者に対し総会で表彰を行うが、各受賞者の総会への出欠について分担・確認することになった（小木曾氏：中澤先生、神谷氏：乗本先生、近藤氏：室先生・東、伊東氏：東経由で石原先生）。

<次回役員会について>

平成 27 年 9 月 5 日（土）中部支部大会終了後、16:30 より椋山女学園大学にて行う。詳細は、別途案内する。

以上